

レッドセンターで先住民の文化にふれる



7日間の旅行日程

スタンレー・チャズム (Standley Chasm) / アンカール・アトワティ (Angkerle Atwatye) での文化ツアー

トップ10

1. アリススプリングスのアラルエン・アートセンターで先住民のアートを鑑賞する
2. ジャンピ・デザート・ウィーバーズ (Tjanpi Desert Weavers) に立ち寄り、現代的な布の作品に出会う
3. 水彩アーティストとして知られる故Albert Namatjiraの出生地であるハーマンズバーグ地区を探索するドライブ旅行に出かける
4. ブッシュ・タッカーに挑戦し、地元ガイドと一緒にスタンレー・チャズム (Standley Chasm) の壁を歩く
5. カルク (Karrke) での先住民文化的体験で、Abbott家と一緒にこの地について学ぶ
6. ウルルでマルク・アーツ (Maruku Arts) でのドット・ペインティングワークショップに挑戦する
7. ウルルのさらに奥へ向かい、SEIT Patji文化ツアーの伝統的な地主とのツアーに参加する
8. 満天の星空の下、ブッシュを使ったタリ・ウィルのディナーを味わう
9. ウルルのロックアートを見て、クニヤウォークでのどかな古代のウォーターホールを訪ねる
10. レッドセンター内の先住民アートコード (Indigenous Art Code) に認定されたギャラリーで、先住民のアート作品を選ぶ


1日目

レッドセンターの中心地アリススプリングスに到着。先住民の文化を体験する1週間の旅が始まります。

アラルエン文化地区は、この地域の芸術や文化に親しむための最初の場所としてうってつけです。次に、ジャンピ・デザート・ウィーバーズ (Tjanpi Desert Weavers) で砂漠製織というユニークな技術について学んでから、町にあるトッドモールのカフェの一つで昼食をとります。

ランチの後は、西アレンテで「多くの手」を意味するイルタ・ニャーラ・アートセンター (Ilta Ntjarra Art Centr) に向かいます。このセンターは、ハーマンズバーグ・スクールのアーティストである、故Albert Namatjiraの様式に則った絵を描く水彩アーティスト達の奨励に特に力を入れています。

午後はイエパーナイ (原住民名: Yeperenye) / エミリー・アンド・ジェシー・ギャップ自然公園 (Emily and Jessie Gaps Nature Park) に行きます。この地域は、中央アレンテ族の人たちにとって重要な場所であり、アリススプリングスの成り立ちを物語る芋虫のドリーミングの話の舞台でもあります。Emily Gap (エミリーギャップ) で、このドリーミングのロックアートを見ることができます。

 オーストラリア - ノーザンテリトリー

 @NTAustralia

 @NT_Australia

northernterritory.com をご覧ください
#NTAustralia を付けて旅行写真をシェア

2日目

今日は、Albert Namatjiraの出生地であるハーマンズバーグ地区コミュニティへのドライブ旅行です。ハーマンズバーグ地区は、独自の現代アートのスタイルを守り、発展させ続けています。ナショナルトラストに登録されているハーマンズバーグ歴史地区を訪れ、その歴史について詳しく学びましょう。ハーマンズバーグ・ポッターズ (Hermannsburg Potters) の見学を予約し、アーティストたちの作業風景を見て、伝統的な芸術と現代的な陶芸の実践を用いた粘土芸術のスタイルを堪能してください。

3日目

今日は、西ジョリジャ (ウェスト・マクドネル山脈) に向かい、フィンク川文化ツアー (Finke River Cultural Tours) によるツアーに参加します。このツアーでは、先住民ガイドが山の景色や砂漠のウォーターホールなどを案内してくれます。ロドナ・ウォーターホール (Rodna Waterhole) や犬の背骨と呼ばれるイトパルカラ (Itopalkara) などを見て学ぶことができます。大河であるLirra Pinta (フィンク川) を探訪したり、「踊る貴婦人」ことヌティパ (Nthipa) の岩石層を見て感動したりすることでしょう。このツアーでは、アリススプリングスに戻る前に、人里離れ、舗装もほとんどされていない4WD道路を1日かけて通って、この地域の奥深くへ入っていきます。



上: アラルエン・アートセンター
左: マルク・アーツでの文化的体験



4日目

ピクニックのお供には、**クンカス・キャンクック (Kungkas Can Cook)** で事前注文したお食事を持参し、この地域のブッシュ料理をお試しください。今日は、赤い岩に囲まれた隠れ家の特徴の**スタンドレー・チャズム (Standley Chasm) / アンカール・アトワティ (原住民名: Angkerle Atwatye)** へのドライブ旅行です。ブッシュ・タッカーやブッシュメディスン(薬草)の伝統的な方法を学んだり、現地でドット・ペインティングのワークショップに挑戦したりしましょう。

さらに、絵画や儀式用のボディアートの原料を採取するために使われた**オークル・ピット**を訪ねます。このサイトは、伝統的な所有者であるアレンテ族によって現在も使用されており、ビジターは岩に触れないなど、この地を尊重するよう求められています。ドライブを進め、**ジョリジャ (ウエスト・マクドネル山脈)**を通り、**キングス・キャニオン**に向かい、その日の宿泊地にチェックインします。

5日目

この日の朝は、早起きして**キングス・キャニオン**のリムウォークに参加することも可能です。エデンの園 (Garden of Eden) でゆっくりと過ごせるように時間を確保してください。ここでは、深い溪谷の中にある印象的なソテツや日陰に隠れている鳥類を見ることができます。トレイルにある標識を辿っていくと行きあたります。

キングス・キャニオン・リゾート (Kings Canyon Resort) で朝食をとったら、**カルッケ先住民文化ツアー (Karrke Aboriginal Cultural Tour)** に向かいます。ルリジャとペルタメ (アランテ南部) の言語を若い世代の未来に残すためにカルッケを設立したAbbott一家に会うことができます。

ユララ・タウンシップまで旅を続けて**チェックイン**。明日の**ウルル=カタ・ジュタ国立公園**の散策に備えて、**ゆっくりと体を休めてください**。

6日目

この日の朝は、**SEIT Patji先住民文化ツアー**で伝統的な地主と一緒にこの地を歩きます。先住民ガイドと一緒に4WDで**ウルル**の南側を探検します。途中、停車して土地の権利や現在のウルルの歴史について話を聞きます。さらに、**ウルル**や**カタ・ジュタ**を見下ろす**広大な砂漠**を眺めるために、**私有地の砂丘**へ向かいます。

この夜は、**タリ・ウィル**で満天の星空の下、五つ星の環境をご堪能ください。このオープンエアの美食体験では、ウルルや遠くに見えるカタ・ジュタの景色を望む人里離れた砂丘で、先住民の食材をふんだんに使った**ファインダイニング**をくつろいだ雰囲気の中で味わうことができます。

7日目

この朝は、ウルルの大きさと神聖の重要性への理解を深めるために、**クニヤ・ウォーク (Kuniya walk)** を歩いて**ムティジュル・ウォーターホール (Mutijulu Waterhole)** に向かいます。クニヤ・ウォークは、生きた文化的地形です。歩いていくと、天地創造の物語がどのように生き続けているのかがわかってくるはずです。クニヤとその魂がここにあります。クニヤが守る洞窟は今も**アナング族**が使っています。朝の散歩の後には、**カルチャーセンター**で、展示や無料のプレゼンテーションで**アナング族**の文化や公園の自然環境について、詳しく学びましょう。

探検が済んだら、**宿泊施設**をチェックアウトして、**レッドセンター**での1週間を振り返りながら、車を運転して**アリススプリングス**へ戻るか、**エアーズロック**空港から飛行機で帰国の途につきます。



northernterritory.comをご覧ください
#NTAustraliaを付けて旅行写真をシェア

ビジターのプロトコルと許可証

NTを訪れる際は、必要な許可証や国立公園パス、走行する地域に応じた十分なガソリンや適切な修理工具を必ず準備し、訪れる地には敬意を表してください。文化ツアーを予約する場合、許可証はチケットに含まれています。事前に旅行会社にご確認ください。

先住民の方々に敬意を表して

私たちは、ノーザンテリトリーの先住民に敬意を表し、文化の継続、土地、水、国とのつながりを認識しています。私たちは、過去、現在、そして未来の長老たちに敬意を表します。